

まちの魅力を実感するとともに
まちに自信と誇りを持つこと

JC Kitakyushu TIMES 7&8

2014 July & August

一般社団法人北九州青年会議所 広報誌



映画監督

羽住英一郎

北九州JC 第62代理事長

児玉雄太

映画撮影を通してみる
北九州の魅力

7月度例会

温故知新例会

8月度例会

大谷徹英氏による講師例会

◆ KITAKYUSHU JC REPORT

わっしょい百万夏まつり

KDS2014 本会議

Junior Chamber International Kitakyushu



新生北九州JC
～温故知新、そしてイノベーション～



vol.03

映画監督
羽住英一郎
北九州JC 第62代理事長
兒玉雄太

interview

対談 映画撮影を通してみる北九州の魅力 北九州には様々な素晴らしい文化や誇るべき地域資源が…

北州市のイメージと魅力

兒玉 羽住監督は7つの作品を北九州で撮影されていますが、最初に北九州で撮影されたきっかけを教えてください。

羽住 「ホーム&アウェイ」というドラマがきっかけでした。そのTVドラマは日本全国を転々とするという話で、その中に北九州編があり、門司港から下関まで行くという内容でした。その時にロケハン*で北九州に来て、北九州フィルムコミッション(以下、KFC)の方とお会いしたことが始まりです。北九州というのは、ロケの際に市やKFCも協力的なので、非常に撮影しやすいですね。



羽住 英一郎 Eiichi Hasumi
1967/3/29

ROBOT映画部所属の演出家、映画監督。千葉県出身。日本大学芸術学部映画学科卒業。「踊る大捜査線」シリーズのチーフ助監督を連続ドラマから劇場版第1作まで務め、劇場版第2作ではセカンドユニット監督を担当した。複数の作品のロケを北九州市で行った経緯で、2010年、北九州文化大使に任命された。

兒玉 北九州に対するイメージは、北九州に来られる前と今では、どう変わりましたか。

羽住 最初は、製鉄所がある巨大な工場地帯というイメージでした。もちろんとても魅力的な景色の一つではあるのですが、実際に来てみると、色々な景色があり、来るたびに新たな発見があります。もう北九州では撮影しつづけたらと思うのですが、今回の「MOZU」で来た際、まだまだこんな所があったのかという発見がありました。

兒玉 私たちも羽住監督の作品を見る事で、北九州にはこんなに良い所があるのかと改めて気付かされました。KFCの力も大きいとは思いますが、それ以外で北九州を撮影場所として選ぶ理由は何ですか。

羽住 撮影隊からしてみると、北九州で撮影するというのは、すごくハンディが大きいんですよ。東京からは遠く、距離があるのはそれだけコストがかかります。そういう意味では、ただ同じ景色だけを求めると、より東京に近い場所の方が撮影候補地になると思います。それでもやっぱり北九州に来て撮る価値が沢山あります。1つはKFCがすごく力を入れている事、長い間撮影を経験しているので経験値も高いという事。あと僕が一番に思っているのは人ですね。まちな人がすごく映画の撮影に協力的で、楽しんで参加してくれるところが一番の魅力です。

兒玉 今まで撮影されてきた中で、北九州の好きな場所や街並みや風景など、羽住監督のお気に入りの場所等があれば教えてください。

羽住 古い物が残っているというのがまず一つ大きな魅力です。「おっぱいバレー」の時に1979年という設定で提案したのですが、僕自身が中学生の時の風景がそこに残っていたりします。今回の「MOZU」でもアーケード上のシーンがありましたが、北九州はアーケード発祥の地ですから

古いアーケードがいっぱいあるわけじゃないですか。アーケードの上に行って思いましたが、時間を重ねたからこそ出る雰囲気があり、なかなかそういう画(え)は他の場所では撮れません。だからそういう時間の積み重ねでできるまちの魅力的な感じがすごくありますね。

撮影地としての北九州

兒玉 「MOZU」という作品は映像化が難しいと言われており、他の連続TVドラマと比べてアクションが盛り沢山でスケールも大きなTVドラマで、非常に惹き付けられる作品だと思います。今回の「MOZU~Season2~」も非常に楽しみなのですが、撮影にあたり特に苦労した点等お聞かせ下さい。

羽住 非常に期間が長いプロジェクトでしたので大変でした。これをTVドラマにしようと言った時点で、そのスケール等で、なかなか成立させるのが難しいと思いました。企画の段階から撮影場所は北九州というイメージでした。原作のクライマックスは空港ではないのですが、Season1のクライマックスは空港を舞台にしようと思い、それは北九州だったら撮れるだろうと思い台本を作り、クライマックスシーンの大部分は北九州で撮影させて頂きました。今回は10月から11月半ばの一月半くらい北九州で撮影したのですが、その時にはSeason1の1話から10話までの台本が全てできていて、北九州を想定して台本やシーンのイメージを作りましたが、撮影のときはそんなに大変な事はありませんでした。ただ、Season2の台本も本当はクランクイン前の昨年9月までの間に作っておく予定でしたが、Season1の台本制作に時間がかり、Season2の台本はSeason1の撮影をしながらの制作になりました。北九州でロケをしている最中に台本の打合せもしましたので、Season2の台本も予定通りできていれば、たぶん北九州で撮影したと思います。

兒玉 それは残念です。Season2も北九州で撮影して頂きたかったですね。

映画は人の心を動かす

兒玉 我々青年会議所は20歳から40歳までのメンバーで構成される、まちづくりひとつづくりをする団体です。毎年組織が変わり、北九州青年会議所は昨年60周年を迎えました。今年は61年目ということで、テーマを「新生北九州JC」とし、これは新しく生まれ変わるとの想いからで、「温故知新そしてイノベーション」というサブタイトルもあります。先輩から受け継いでものや歴史を学び、そしてその精神を受け継いで新しいものを

作っていくというテーマで運動しています。羽住監督が映画を撮影されるうえで大切にされているポリシーやテーマ等があれば教えてください。

羽住 僕が映画を好きな理由は、感情を動かされることです。自分が映画を観に行くと、ハラハラしたりワクワクしたり、泣いたり笑ったり、感情を動かされるのが好きなので、映画を作るときもなるべくお客さんの感情を動かす物を作りたいと思っています。映画の歴史はそんなに長くはないですが、色々な手法が使われています。徐々に色々な新しい最先端技術が入ってくるのですが、この人間の感情の部分っていうのは昔から変わっていないはず。「おっぱいバレー」の時に思ったのですが、自分の中学生時代と今の中学生って全然違うじゃないですか。「おっぱいバレー」は、おっぱいが見たいが為にバレーボールを頑張るっていう中学生の男の子の話なのですが、僕らの中学生の時って、確かになかなか見られなかったものです。でも今ではコンビニに行けば本等があるインターネットもあります。それは僕らの子供の頃には考えられないことで、その情報の氾濫している中で、オーディションで実際に中学生と会って話を聞いたりすると、人間の本質的な所って変わってないですよ。僕らの中学生の時っていうのは、女の子から辞書を借りてちょっとかき取りしていましたが、今の子供たちは電子辞書を使って同じような事をしていて聞き、やる事は変わってないなと思いました。だから人間は変わってないと思うので、そこさえ信じて大切にしていけば、たぶん色々な新しい本や古い物からもきっと得るものがあるし、そこが一番大事かなと思いますね。



兒玉 私はどちらかと言うと羽住監督の世代に近い側なのですが、今の中学生もツールは変わっても同じような事をしているのですね。

映画撮影に学ぶ組織論

兒玉 我々青年会議所は、1月から12月まで単年度制で、また来年は違う組織で活動していきます。羽住監督も1本1本の作品においてスタッフやキャストの方が変わっていく中で、どう上手く組織を作り上げていくのか、心がけていることがあれば教えてください。

羽住 映画のスタッフっていうのは毎回「また同じメンバーで作りたい」と撮影が終わる度に思うのですが、全く同じスタッフやキャストで集まるっていうのは不可能な事です。だからその瞬間が最初で最後の集まりなので、そこでの出会いを大切に悔いが無いように作っていく事を心がけていますね。

兒玉 また、青年会議所はリーダーを育てる団体でもあるのですが、映画監督も1つの作品を作るチームのリーダーだと思います。羽住監督がお考えになるリーダーとしての資質とかリーダー像について教えてください。

羽住 僕はほとんど何もしないというか、なるべく皆ののびのび力を発揮できる現場が理想だと思っています。なかなか監督がリーダーシップを執る局面が無いのですが、自分たちのやらなければいけない事を皆がきちんとわかっていて、そして目指すところが一緒になることが、組織として一番良い形だと思います。撮影の現場で各パートが各パートの事しかやっていない現場は本当につまらないと思います。たとえば照明部が美術の事をやったり、他の部が他の事をやったり、手伝ったりする、口出したりするっていうのが理想的な現場だと思います。それは自分たちの事が出来ているから出来る事であり、自分たちの事が出来てなくてよその事に口出したり手伝ったりしたら怒られるわけじゃないですか。「まず自分の事をやれ」となってしまいます。だから、皆がそういうふうののびのびできるという事が理想形だと思います。

*ロケハン…「ロケーションハンティング」。撮影場所の下見など



市民の協力が得られるまち

兒玉 今後も北九州で作品を撮影してもらいたいと思いますし、それはすごく北九州にとっても嬉しいことだと思います。これからもこのまちで撮影して頂くにあたって、北九州に求める事や、市民の方へお願い等があれば教えてください。

羽住 今まで通りお祭り好きな人々であって欲しいですね。東京等でロケハン*とかするとき、そろそろ数十人怪しい格好の男たちがバスから降りて、急に写真を撮ったり採寸したりし始めると、近所の方が「何するんですか?」と来るわけですよ。そこで我々が「映画撮影の準備です」と言っても、そんなに前のめりになつてこないのですが、北九州だと「いつ撮影ですか?」って感じで皆様すごく楽しみにして下さい、参加してもらえる感じが大きな魅力の一つなので、いつまでもそうあってほしいなと思います。祭りの時期に北九州に来て「やっぱりお祭り好きなんだな」と思いましたよ。

兒玉 最後に「MOZU」の映画化を、私を含めた北九州市民が本当に期待し、応援していますが、北九州でのロケの可能性はあるのでしょうか。

羽住 もちろん「MOZU」をこの先また撮影するようなことになれば、是非とも北九州で撮影したいと思っています。

兒玉 楽しみにしています。その時は是非、よろしく願います。今日は本当にありがとうございました。



~北九州の魅力に迫る~ 羽住英一郎監督トークショー 「MOZU」Season2~幻の翼~(第1話) 特別試写会 in 北九州

6月19日、北九州国際会議場メインホールにて、「~北九州の魅力に迫る~羽住英一郎監督トークショー「MOZU」Season2~幻の翼~(第1話)特別試写会 in 北九州」が行われました。このTVドラマ「MOZU」は多くのシーンの撮影を北九州で行っており、全国へ北九州の魅力発信できたのではないかと思います。業界関係者の中には「TVドラマや映画の撮影で困ったら、まずは北九州へ行って考えよう!」と、業界的にも北九州が撮影スポットとして注目されつつありますが、何より行政や企業、そして市民が一体となって協力している事が北九州の良さだと改めて感じました。

<北九州の魅力発信委員会 今田信之>





7月度温故知新例会

2014.7.19/18:30/Rihga Royal Hotel Kokura



8月度講師例会

2014.8.11/18:30/Station Hotel Kokura

自分が大切だと
信じるものを
自分が大切に大切に
育て続ける
それがすべてだと
私は思う

温故知新～そしてイノベーション～

7月9日リーガロイヤルホテル小倉にて、7月度例会が開催されました。7月度例会は、「温故知新」をテーマに、北九州JCシニアクラブ代表世話人、第33代理事長の彌登章先輩から先人たちのJC運動や歴史、JCに対する想いをご講演頂き、学ぶことが出来ました。そして、到津の森公園園長の岩野俊郎様、第47代理事長の神崎大先輩、そして兒玉理事長の3名にパネラーとしてご登壇頂き、コーディネーターに桑島副理事長を加えてのパネルディスカッション方式で到津の森に関する様々な討論を行っていただきました。北九州JCが行ってきた「到津の森公園」に対する支援活動について、改めて活動の歴史を学び、支援意識を再認識してもらうことができました。担当であるアカデミー第2委員会の皆様による動物サポーターへの入会促進も行って頂き、良い入会結果に繋がったのではないかと思います。最後に内容を振り返りますと、諸先輩方の運動、歴史、想いを改めて学んだことで「温故知新～そしてイノベーション～」を実現する大きな一歩になったのではないかと思います。

これからも会員が一堂に会する例会という場を会員の皆様にとって有意義な学びの場となるように目指してまいります。
＜例会特別室 次長 田中徳将＞



7月のおめでとうございます
例会最多出席委員会 アカデミー第2委員会 97%

「心を耕す」 幸せの条件～よりよい人間関係のために

8月11日ステーションホテル小倉にて、8月度例会が開催されました。今回は講師に奈良県の薬師寺住職 大谷 徹契 (おおたに てつじょう) 氏をお迎えし、「心を耕す」幸せの条件～よりよい人間関係のために」という演題で法話をして頂きました。大谷氏はお経を市民にわかり易いように翻訳し、今まで氏が経験してきた事を交えての法話は、とても理解しやすく共感を持てる内容でした。私たち北九州JCメンバーも、仕事、プライベート、JC運動など様々な場面で人間関係を大切にしなければなりません。今回の法話を聞き、よりよい人間関係を築くためのヒントを少しでも得ることができました。

その後行われた通常総会では、2015年度理事長予定者に小森敏弘君が承認され、次年度へ向けた意気込みを発表しました。委員会PRでは、北九州の魅力発信委員会から「ものづくり体験!! 集まれ!! 未来のマイスター温故知新プログラム～北九州のものづくりに学ぶ～」のPRが、国際交流委員会から9月度例会「外国人によるパネルディスカッション」のPRが行われ、今後の事業にも魅力を感じました。
＜広報戦略委員会 委員長 川本壮一朗＞



セレモニー：深川康太郎 / 仁木一嘉君 / 小嶋慶君 市民憲章唱和：安河内克枝君

8月度通常総会

次年度理事長予定者に小森 敏弘君が承認されました
議長を務める兒玉理事長 総務委員会：松成委員長

8月のおめでとうございます
慶事報告 総務委員会：浮城稔君 <ご長男誕生>
例会最多出席委員会 広報戦略委員会 84%

7月度 新入会員紹介

7月度例会にてバッジ授与式が行われました
ご入会おめでとうございます

* 1. 生年月日 / 2. 紹介者名

アカデミー第1委員会		アカデミー第2委員会	
佐々木 遥君 Haruka Sasaki 1. 1993/1/26 2. 木崎 / 安田由貴子	富岡 可幸君 Yoshiyuki Tomioka 1. 1984/3/27 2. 清水 / 小嶋慶	中斎 俊行君 Toshiyuki Nakasai 1. 1976/10/8 2. 田中雅之 / 清水	藤本 龍一君 Ryuichi Fujimoto 1. 1976/9/17 2. 鮫島 / 辻川
前川 仁君 Hitoshi Maekawa 1. 1979/3/20 2. 鈴木 / 中尾	義金 朋憲君 Tomonori Yoshikane 1. 1977/4/6 2. 竹内 / 佐藤良	池田 憲俊君 Noritoshi Ikeda 1. 1979/6/16 2. 兒玉 / 竹内 / 小田剛	上野 暢子君 Yoko Ueno 1. 1980/11/3 2. 小迫美緒 / 小金丸
正富 晃規君 Akinori Masatomi 1. 1987/7/16 2. 川俣 / 廣瀬	岡村 廣之進君 Hironoshin Okamura 1. 1979/5/8 2. 小森 / 松成		

9月度国際例会

外国人によるグローバルディスカッション

外国人6名とコーディネーターに山崎勇治氏と吉田幸正先輩をお招きします

9月度例会は、国際例会ということで、北九州市に在住する各国出身の外国人による日本語でのパネルディスカッションを行ないます。その中で外国人の日本(北九州市)に対する思いや、考えを知り、今まで国際交流に興味が無かったメンバーへの国際交流のきっかけをつくりたいと思います。他国を知り自らを理解し、国際社会の日本のあるべき姿や国際貢献を学び、世界恒久平和の実現へとつながる場となる例会として、外国人と交流しながらの楽しい懇話会とします。ぜひ皆さま揃っての参加をお待ちしております。

9/9 ステーションホテル小倉 4F
小倉北区浅野 1-1-1 / TEL 093-541-7111
● 例会 18:30～20:30 ● 懇親会 6,000円

10月度例会

堀江貴文氏講演会

ゼロからイチへと始まるチャレンジ精神

10/24 (金) アルモニーサンク 北九州ソレイユホール
北九州市小倉北区大手町12-3 / TEL 093-592-5405

開演 18:30 開場 17:30 前売り 1,500円【全席指定】
チケット好評発売中 チケットぴあ [Pコード:627-344]

チケットの購入は、チケットぴあ(セブンイレブン、小倉井筒屋、黒崎井筒屋ほか)北九州ソレイユホール チケット販売窓口にてお問い合わせください。
※公演中止の場合を除き、キャンセル・払戻しはできません。

事業報告

一般社団法人北九州青年会議所が
7月8月に活動した事業の報告です

未来のリーダー創造委員会
Next Generation Leaders Development Committee

2014/07/06

KDS2014 本会議 [北九州ドリームサミット]



KDS2014 公式ホームページ <http://kds2014.jimdo.com>

7月6日北九州市議会棟本会議場にて、北九州ドリームサミット2014本会議が開催されました。その中で行われたドリームディスカッションにも北橋市長・垣迫教育長・平林中学校長・牧野北九州市PTA協議会副会長・児玉理事長に参加いただき、北九州市の現状・まちの魅力・今後のビジョンや、いじめ問題などKDS議員からの質問にお答えいただき、KDS議員にとって大変貴重な経験となりました。各プロジェクトチームからは、わっしょい百万夏まつりで継続事業として行っているライトダウン事業、北九州市が抱えている問題の一つである竹害問題の発信と地産地消を推進する食のブース出展を行う事や、ライトダウンプロジェクトチームではKDSで初となる関門海峡花火大会でもカーボンオフセット活動を発表しました。さらに10月に今年のKDS事業の集大成となる“竹あかり”による竹害問題の発信事業を行う事を宣言しました。本会議場の厳かな雰囲気の中、最初は緊張していたKDS議員も、会が進むにつれて発言も積極的になり、自信も感じられ、本会議終了後はとても充実した様子でした。未来のリーダーとなる彼らの今後の活動を応援よろしく申し上げます！

<未来のリーダー創造委員会 副委員長 森尾泰之>

会員資質向上委員会 Committee to Improve Member's Qualification



JCの活かし方 2014/06/23

6月23日、マリコホールにて北九州JC第56代理事長 飯野一義先輩による「JCの活かし方」をテーマにご講演会が行われました。数多くの経験をされた飯野先輩は、独自の経営論やリーダーシップ論を、テーブルごとのディベートを交えながら、分かりやすく楽しく教えて頂き、これからの行動に気付きを得ることができました。<会員資質向上委員会 星川育代>

アカデミー第1委員会 Academy Committee no.1



小倉祇園太鼓像清掃 2014/07/05

7月5日JR小倉駅前ペDESTリアン・デッキにて小倉祇園太鼓像清掃が行われました。今年は建立55周年を記念して、像のモデルとなった新栄町・旭町町内会(旧旭町町内会)の皆様(小倉祇園太鼓の実演を行って頂き、多くの市民の方々に見守られて、町内会の皆様と一緒に小倉祇園太鼓像の清掃を行いました。<アカデミー第2委員会 副委員長 山本寛之>

会員拡大委員会 Membership Development Committee



第3回 Jコン 2014/07/15

7月15日マリコホールにて、今年3度目となるJCコミュニケーションパーティーが開催されました。当日は仮入会者20名を含む総勢約60名の皆様にご参加頂きました。今回は初めての立食形式で前回同様に歓談の時間を長く設けました。その中で仮入会者に北九州JCがどのような事を行っているのかを少しでも知ってもらうために、わっしょい百万夏まつりやKDS事業の紹介をしました。参加者は飲食を楽しみながら、メンバー・仮入会者の垣根なく交流を楽しんでいる様子でした。<会員拡大委員会 幹事 山田忠弘>

事務局 Executive Director Department

サマーコンファレンス 2014



7月19～20日、横浜の地にてサマーコンファレンス2014が開催されました。日常では聞くことのできない著名人によるセミナー、フォーラム等が開催され、日本JCの運動を理解する機会を得る事が出来ました。また、今年度は屋外でのコンサートや打ち上げ花火等も合わせ、横浜の町は盛大に盛り上がりました。

LOMナイトでは、メンバーと共に横浜の夜を過ごし、友情・懇親を大いに深める良い機会になりました。

<事務局次長 竹内陽平>

九州地区大会2014 別府大会

7月11日～13日、別府の地にて九州地区大会2014別府大会が行われました。

メンバーの皆様には、各種フォーラム等に積極的に参加して頂き、九州地区協議会の運動を理解することが出来たと思います。

12日の夜のLOMナイトでは、卒業生の追い出しを行い、多くのメンバーで卒業生の皆様を取り囲み、楽しく別府の夜を過ごすことができました。

13日のAWARDS九州2014では、昨年度の事業『環境わ歌 in 曽根干潟』が見事表彰されました。

<事務局次長 佐藤良>



国際アカデミー in 半田

2014 JCI Academy in HANDA

7月6日～11日愛知県半田市で、JCI国際アカデミーが開催されました。

27回目の国際アカデミーは、異なる宗教・文化背景から価値観の違う参加者同士が、今回の「共鳴」というテーマのもと各国のNOMの代表者達と毎日深夜まで討論を行いました。最初は言葉も通じず、ぎこちなかった海外デリゲイツとも、同じ釜の飯を食い、生活を共にすることで絆が生まれ、卒業式では泣きながら別れを惜しまました。自国に戻った、グローバルネットワークが志を同じくする仲間と協働し互いの影響力を拡大していくことで持続可能なインパクトを生み出し続け、JCIの目的である恒久的世界平和の実現へと繋げていくのだと確信しました。

<北九州の魅力発信委員会 副委員長 川井基嗣>

※NOM・・・国家青年会議所 / デリゲイツ・・・海外からの参加者



Wasshoi 革新

第27回 わっしょい百万夏まつり

8月2・3日

会場：北九州市小倉北区 小倉城周辺 米町公園

アカデミー第1委員会 Academy Committee no.1

8月2日・3日の2日間「わっしょい百万夏まつり」が開催されました。当日は天候の心配もありましたが各イベント・事業共に無事行うことができました。

今年は「Wasshoi革新」をテーマとし、昨年の市制50周年に続き100周年に向けての第一歩として取り組みとなりました。年初よりアカデミー第1委員会は「わっしょい百万夏まつり」の歴史や諸先輩方の創始の精神・継続への思いを学び、本事業の重みを認識しました。その甲斐もありスタッフをはじめ、アカデミーメンバー全員が高い意識でまつりに参画することができました。また今年は、2日の「わっしょいYOSAKOI北九州」の市役所北会場における企画・運営を行い、受付や参加者のアテンド、司会などすべてをJCメンバーが担当しました。隣接会場では、アカデミー第2委員会による移動動物園が到津の森公園の協力のもと開かれ、サポーター募集や募金活動を行いました。そして、「まつり大集合」は新たに折尾神楽、朽網口説が加わりさらなる広がりを見せました。生憎の天候で不参加の団体もありましたが、JCメンバーは責任感と緊張感を持って、山付を行い事故も怪我もなく終えることができました。

2日目のわっしょいパレードでは歩車同時に参加ということもあり安全面などの注意が必要でしたがメンバー主導のもと、無事に迫力あるパレードが行われました。2日間通して行われたKDSブースも大変盛り上がり中学生の活動力にJCメンバーも得るものが多かったと思います。さらに今年は「街のにぎわいづくり部会」が行った米町公園でのイベントサポートもJCメンバーが行いました。北九州JCの「わっしょい百万夏まつり」における活動も多岐に渡るようになって参りました。その中で我々アカデミーメンバーは本年のまつりを通し大きく成長できたと実感しています。フィナーレの花火を見ながら、花田委員長をはじめ全員が今まで感じたことのない達成感と感動を味わい、今後のJC運動に対する大きな糧を得ることが出来ました。このような経験が出来たのも一緒に汗を流したJCメンバー、そして支えて頂いた多くの関係者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

<アカデミー第1委員会 副委員長 西川弘志>



■ 北九州市小倉北区上到津 4-1-8
■ TEL:093-651-1895
<http://www.itozu-zoo.jp>



アカデミー第2委員会より
Academy Committee no.2

9/28日 9:00~17:00
到津の森公園

到津の森秋のちからまつり
収穫祭

毎年恒例の秋のちからまつり。
今年も楽しいイベント盛りだくさん!
皆さまのお越しをお待ちしています。



9/23^{火祝} 動物愛護デー
9:00~18:00 入園料無料!!

子どもから大人まで、入園料無料で楽しみいただけます。動物愛護センター、北九州市獣医師会などによるイベントが盛りだくさん!また、当日は閉園時間を延長して夕方6時まで営業します。

※駐車料金、遊具利用、エサやりは通常どおり有料です。

動物慰霊祭

9:30~10分程度 郷土の森林動物慰霊碑前
昨年の慰霊祭以降、これまでに当園で亡くなった動物たちに献花します。来園者の皆さんにもご参加いただけます。

10/11^土~31^金
マジカルハロウィン

Magical Halloween

諸聖人の祝日の前夜(10/31)の祭りハロウィンの季節です。到津の森公園では、期間中は園内をオレンジと黒のハロウィンカラーに彩り、かかしやカボチャ人形などがあちこちに登場します。

[期間中の日曜日には楽しいハロウィンイベント開催!]



到津の森公園
動物サポーター大募集
~つながる、つむぐ、つづいてく~



スポーツ促進委員会より
Sports Promotion Committee

10/18^土 8:30~13:00
北九州市若松区 響灘緑地グリーンパーク

Vegetable Marathon 参加者募集中
ベジタブルチャリティーマラソン

北九州

参加費: 大人2,000円 / こども(中学生以下)1,000円
家族参加でも楽しめるアトラクションを準備しています。多くの参加をお待ちしております。

公益社団法人日本青年会議所
第63回全国大会
松山大会

2014.10/9(木)▶12(日)

全国大会 松山大会

検索

取戻せ。日本の矜持を!

~ことほのちからが「たかましい国」日本へと導く~



主催:公益社団法人日本青年会議所
主管:公益社団法人松山青年会議所

Giravanz KITAKYUSHU

Home Game Schedule

- 9/6(土) キックオフ 18:00 vs アビスパ福岡
- 9/23(火・祝) キックオフ 18:00 vs 松本山雅FC
- 10/4(土) キックオフ 16:00 vs カターレ富山
- 10/19(日) キックオフ 16:00 vs 東京ヴェルディ
- 10/26(日) キックオフ 16:00 vs FC岐阜



会場: 本城陸上競技場
北九州市八幡西区御園4-16-1

Information



● 広報戦略委員会では、JCタイムズ発行・ホームページの更新、Facebookは事務局との連携のもと最新情報を掲載!
広報ブログ「カワモンは見た!」も綴っております。是非ご覧ください!

facebook

KitakyushuJc

お願いします
いいね!

広報ブログ

<http://ameblo.jp/kita9jc2014/>

北九州JC



<http://www.kitakyushu-jc.jp>



新生北九州JC
~温故知新、そしてイノベーション~

一般社団法人 北九州青年会議所

802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35-6F
1-35-6F, Furusenba-machi, Kokura-kita, kitakyushu
TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-Mail: room@kitakyushu-jc.jp

facebook KitakyushuJc